

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	帝国通信工業株式会社					
代表者名	氏名	羽生満寿夫	役職名	社長		
主たる事務所の所在地	神奈川県川崎市中原区荻宿4-5-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	車載用各用途（シートヒーター・間欠ワイパー用ボリューム・輝度調整用ボリューム他）基板へ電気配線印刷、デジタルカメラ、ゲーム用各用途フィルムへ電気配線印刷等。					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1513	1483	1344	1392	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3230	3165	2861	2970	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	5		5	5	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	7				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 29 年度	計画期間	平成 30 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	長野県駒ヶ根市飯坂2-4-1 帝国通信工業株式会社 赤穂工場 業務課(TEL:0265-82-6111) 上記において、弊社営業日の9:00~12:00, 13:30~16:00閲覧可能
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

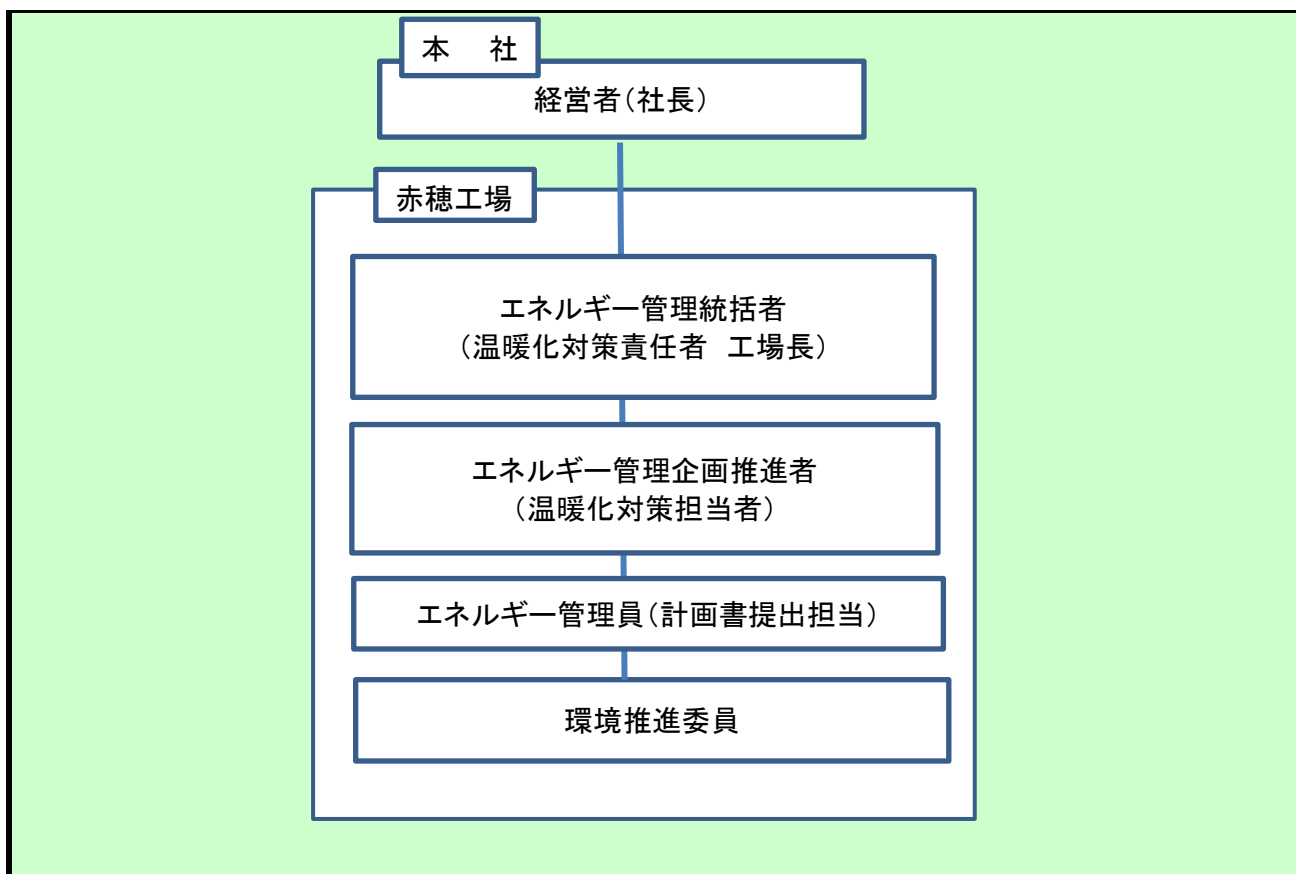
様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境基本方針

帝国通信工業赤穂工場は環境保全の重要性を認識し人と地球にやさしい技術・人間性を指向した技術の観点から、地球にやさしい製品づくりを目指し、お客様にご満足して頂ける企業活動と環境の保全との調和に努めます。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境推進委員会 (3ヶ月に1回)

年度初めに電力等の削減計画の作成、委員会開催時には、電力使用の推移、CO2排出量の確認、把握を行う。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,230	t-CO ₂	生産額	454.00	単位	千万円	
29年度	調整後排出量	3,204	t-CO ₂	基準原単位	7.11	t-CO ₂ /	千万円	
目標年度	目標排出量	3,165	t-CO ₂	目標原単位	6.97	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	2.01	%	目標削減率	2.00	%		
目標設定に関する説明	環境推進委員会を中心に効率的なエネルギー使用を考え、老朽化した設備の計画的な更新を進める事により、毎年1%の削減を目指す。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	2,861	t-CO ₂	生産額	422.30	単位	千万円	
	調整後排出量	2,842	t-CO ₂	原単位	6.77	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	11.42	%	削減率	4.78	%		
排出量等の増減理由	当年度の仕事量が基準年度より大幅減となり、交替勤務体制の一時中止、土・日曜日の出勤体制が無くなる期間が長く、排出量の減につながった。							
第二年度	排出量	2,970	t-CO ₂	生産額	410.40	単位	千万円	
	調整後排出量	2,946	t-CO ₂	原単位	7.24	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	8.04	%	削減率	(1.83)	%		
排出量等の増減理由	基準年度より昨年同様仕事量の大幅減により、交代勤務、休日出勤等が無くなる期間があった為、基準年度より排出量は減につながった。 2年連続仕事量減であったが前年同様の温度、湿度維持に換算エネルギーの使用が必要であった。生産額減であった為、原単位削減率のマイナスにつながった。							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	生産額		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	14	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	13.72	t-CO ₂	削減率	2	%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310400 エネルギー使用量の管理 (電力監視システム更新)	H30~31	-		
2	エネ起	360703 コンプレッサーの台数削減と エアー併用方法の改善	H30~31	27	H30	27
3	エネ起	360705 コンプレッサーの保安全管理 (エアー漏れ対策)	H30~31	3	H31	3
4	エネ起	380752 LED(未変更箇所)の導入	H30~31	5	H30	5
5	エネ起	320206 電気乾燥炉の稼働率アップ	H30~31	73	H31	73
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
現在時点導入無し						

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	26		19	24	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,230						
1,500k1未満			1	2,861	1	2,970		
合計	1	3,230	1	2,861	1	2,970		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	2	3	3	
合計	2	3	3	0
自動車総数	5	5	5	
次世代車導入割合	40	60	60	

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2009年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	廃棄物前年度実績より原単位の1%削減
第一年度実績	廃棄物・電力使用、前年度実績より原単位の1%削減の目標で行ったが生産高減の為、原単位での1%減は未達成
第二年度実績	廃棄物・電力使用、前年度削減目標未達成の為、試算上実績の1%削減の目標で行ったが2年連続生産高減の為未達成
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	24時間稼働職場LED照明へ更新	
その他	空調設備更新を予定	159